

レスキューナースが教える！ プチプラ防災と コロナ禍の地震対策講座



いつ起きるかわからない地震災害。コロナ禍でもし災害が起こった時の対処法や、手軽に取り入れられるプチプラ防災を、被災経験のあるレスキューナースに学びましょう！

(※プチプラ=安くても良い品の意味)

- ◆日時◆ 7月25日(日) 午後2時～4時
- ◆講師◆ 辻 直美さん
(国際災害レスキューナース)
- ◆対象◆ テーマに関心のある方
(子ども同室参加可能)
- ◆定員◆ 先着 30名



お申込みは下記のとおり↓



●講座に関するお問い合わせ・申込方法●

- 申込は直接・電話・メールにて受付
- メールでの申込は①講座名 ②住所 ③氏名
- ④電話番号 を明記下さい。



※詳細はお問い合わせください。

★ご来館・電話受付時間(月祝を除く9時～17時30分)

★新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご来館の際は事前に検温し、マスク着用をお願いします。

◆◆主催講座の開催日変更のお知らせ◆◆

緊急事態宣言発出に伴う臨時休館により、以下の主催講座は開催を延期しました。【お申込み受付中！】

《日程が変更となった講座》(※カッコ内は当初の開催日程)

- ① 子づれシングルのアナタへ伝えたい！(5/15)
～困った時に頼れる支援情報!!～
◆日時◆ 8月7日(土) 午後2時～4時
◆講師◆ 神原 文子さん
(NPO法人いんぐるまぎーず・ふぉーらむ・関西 理事)
- ② 働くワタシのモチベーションアップ講座(5/23、30)
◆日時◆ 未定
◆講師◆ 山本 幸美さん
(株式会社プラウド代表取締役社長)
- ③ アサーティブ・コミュニケーション講座(5/25、6/1)
～自分も相手も大切にできる会話術～
◆日時◆ 8月3、10日(火) 午前10時～12時
◆講師◆ 尾崎 貴子さん
(NPO法人アサーティブジャパン認定講師)
- ④ HSPの自分を活かす方法(6/5)
～“生きづらさ”から“自分らしく”へ～
◆日時◆ 8月28日(土) 午後2時～4時
◆講師◆ 寺田 彩乃さん
(オフィスやすく代表・マンガ思考メソッド講座主宰)
- ⑤ ミドル・シニアの就職応援！(6/16、23、30)
◆日時◆ 9月8、15、22日(水) 午後2時～4時
◆講師◆ 岩木 千秋さん
(キャリアカウンセラー)

◆対象◆ 全講座テーマに関心のある方。①、⑤は女性のみ

【再度延期になる可能性もあります。ご了承ください。】

講座の日程については、ホームページやチラシ等でお知らせしますのでご確認ください。

また、日程変更の場合、既にお申込みいただいている方にはこちらから直接ご連絡します。



2月21日(日) 開催

その夫婦での「呼び名」って正しいの…？
～なぜ夫は主人で、私は家内なの？～

★講座レポート★

講師：今井 小の実さん

(関西学院大学 人間福祉学部教授)

普段、何気なく使っている「主人」や「家内」などの呼び名。その言葉の歴史的背景を理解する事が他者を理解することにつながるというお話を頂きました。

これらの言葉は、戦前の日本における女性の地位の低さ、つまり「男尊女卑(儒教の影響)」が背景にあります。女性の政治からの排除、教育や社会参加の制限、民法による既婚女性の地位に対する二重規範＝「(事実上の)公娼制度」、性別役割分業＝「男は仕事、女は家事・育児」など、妻が夫に経済的に依存せざるを得なかった状況を表しています。

1789年フランスの人権宣言でも、「自由・平等・博愛」を享受できたのは、宣言が「人間」と認めた男性のみでした。また、欧米をモデルに近代国家形成をめざした明治政府も国民の範疇から女性を排除し、その権利を家庭の中に封じ込め、男性の従属物とするシステムを

構築していき、その後の日本では性別役割分業が当たり前となりました。1985年に男女雇用機会均等法、1999年に男女共同参画社会基本法が制定されるも、日本のジェンダーギャップ指数は158か国中120位(2021年3月発表)と依然低いままです。本来であれば夫婦の呼び名も、時代とともに変わっていくべきですが、このような歴史的背景もあり、すぐに切り替えるのは難しいのが現状です。

話す相手にもよりますが、それぞれの呼び方でbetterとされるのは『夫』と『妻』。または、男女どちらとも使える『パートナー』と呼ぶのも良いでしょうとの事でした。講師の今井先生は、シチュエーションによって使い分け(＝バイリンガル)しているそうです。

これまでの「知らないまま使っている」状況から、「知っていて使い分ける事ができる」ことが大切だそうです。

